


地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

▼ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	高齢者をもつ家族、様々な問題を抱える方の相談や問い合わせ等、できる限りの対応をさせて頂いています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員が利用者一人一人を理解しているのか、その人の立場にたったケアがなされているのか朝会の中やスタッフ会議を通じて改善に取り組んでおります。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町会の役員の方、民生委員、ご家族、市役所の職員の方に参加していただき、施設に対して要望又はご意見を交換しサービスの向上に努めています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者、職員についての相談業務で訪問相談調査員の方に施設へおこし頂き、アドバイスを頂いております。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者、個々の家族状況に於いて対応が必要と思われる利用者に対して、関係者と相談、アドバイスをいただき本人の納得、理解をして支援し制度を活用しております。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	折りに触れての会議(朝礼、スタッフ会議等)を通じ、虐待防止の遵守に向けた意見交換、取り組みを行なっています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者、ご家族の方が契約に関する内容を理解し納得いくまで説明の上同意していただいています。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の方一人一人が心配事、困った事等を比較的相談をして下さるので日常的に行なっています。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月末請求の送付する時「ひまわり便り」を発行し利用者の状況報告を行なっております。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	提案箱も設置してありますが、面会時又は問題があった時、迅速に対応し、その都度対応しております。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的には問題があった時、皆で意見交換し、その都度対応しております。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常に心掛けています。夜間帯に於いても対応しております。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	規模が小さい施設なので、職員間に於いても比較的問題も少ないように思えます。意見交換もし、問題に対応しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	瀧切るだけ全職員が均等に研修を受けられるようにしている。内部研修については、スタッフの勉強会を行なうようにしている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	郡市でGH協議会や相談員連絡会など設立され、同業者とのコミュニケーションを図ることが出来ている。		管理者・計画作成担当者のみでなく介護職員も参加できて交流できるような場があると、もう少し幅広くなるのではないかと思うのでGH協議会で提案しました。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	コミュニケーションを図ることでストレス回避できるかわかりませんが、わからないことをわからないままにしないようにその都度問題をクリアさせていくようにしています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の得意分野、不得意分野を把握しその人がその人らしく活かすことが出来るよう工夫をしています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談者によっては伏せたいことがある方もいますので(過去の経歴や生活歴など)隅々まで聞くのではなく、本人が今訴えたいことや聞きたいことなどをクリアしていくことからはじめています。親身になって問題をクリアさせることが信頼のではと考えています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談に来られる方々は困って施設へ相談に来られるのですから、ゆっくりと相談できる場の設定をし、話しや訴えをしっかりと聞く。相談者が不安なく施設を利用できるよう納得できるまで説明をさせていただきます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人の生活歴を良く知り、生活の歩み、認知症の症状の出現状況の把握をしている。本人の気持ちの理解の必要とされる援助をしている。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人の意思を大切にしています。入所を本人が納得するよう家族とも十分に話し合っています。また体験入所も設けており、施設の雰囲気に触れ感じていただきながら検討、相談していただくようにもしております。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の人格を尊重し、利用者が得意とする趣味等を通し、職員サイドも学ばせていただいている。また、日常的な作業においても本人の意思により一緒に行っています。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会等、また、電話等にて家族との対話を心掛け問題解決に努めています。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>家族の中の間人間関係が良好であるか、そうでないかの理解に努め、時間をかけより良い方向に向かうよう支援しています。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人から、過去の生活の中でどんな人と関わってきたのか話を聞いたり、会話をしながら会いたい方をたずねたりしている。また、家族との連絡を密にし、本人と面会される方向へと努めています。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>比較的、利用者同士ののいさかいは少なく、利用者同士の助け合いや声掛けも行われております。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者ご家族様に、床屋経営されている方がおりまして、サービス利用中も施設利用者の理美容を定期的にお願ひし施設訪問していただきました。サービス利用契約終了後もご家族様より訪問理美容を継続したいと声をかけていただき、現在も大切にお付き合いさせていただいております。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1人ひとりの暮らしの希望や、意向を把握する様努め、その都度対応をしています。時間を要する場合も多々ありますが、本人の希望に添える様努めております。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の実調、入所時にはご家族様に協力をいただき、今までの経過により近づける様、情報をいただいております。入所後も施設生活の中で見えてくる部分については、面会時等にその人の現状や経過などの情報交換を行っております。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々のミーティングや会議ではもちろん、職員間でも情報交換を行い、その人の心身の状態、近況について話し合っております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、ご家族、関係者の方々には定期的に話し合い、アイデアをいただき、介護計画や日常業務に活かしております。ご意見があまりいただけないご家族の場合も、施設側から相談を投げかけ、それをご家族や関係者と相談しながら介護計画を作成しております。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その都度、本人やご家族や関係者に現状を話し、今後どのような生活が本人に適しているか、満足して頂けるかなどを話し合い、対応を考え、計画作成に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の重要性について定期的に話し合いをし、日々の記録の向上に努めています。又、情報を共有しながら実践し介護計画に反映できる様努めています。		今後も介護計画をその人独特な物を作成し、GHとしての特性を活かしたプランを立てられる様学んで行きたいです。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状態や家族の状況などを考慮し、その時々々の要望に応じるように努めています。又、急激な生活環境の変化を避けるよう柔軟な支援に努めています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	施設の行事等に地域の方々にも参加していただき、又、お声掛けをいただき、大変協力的にさせていただいております。利用者の希望で定期的に慰問をお願いしていますが、決まった方になってしまいます。		今後も多方面に向けて積極的に呼びかけを行い、利用者の生活の充実を図ると共に、協力体制を築いて行きたいです。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の気持ちを大切に、又、生活に意欲を持っていただく為に、自分だけの考えでなく他のケアマネや地域のサービス事業者に問い合わせをしつつ情報収集、交換をしながら、その人に支援できる様努めています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護について本人の意志、意向により長期的にわたり話し合いを持ち、十分に納得できるよう支援しています。又、地域包括支援センター等、他の事業所と相談をしアドバイスもいただいております。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の気持ちを最優先にし、ご家族の協力もいただきながら話し合いを持ち適切な医療を受けられる様支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関と先生方が、認知症について衆知して下さっており、職員も日常的に報告、相談できる体制になっています。又、利用者の状態により専門医に受診し診断や治療を受けられる様、支援しています。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関の看護師さんと利用者一人ひとりの状態や日常の健康管理についても積極的に相談し、情報交換しながら支援をしています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	本人やご家族にも安心していただける様、定期的に面会をし、入院した利用者との会話を通し、状態の把握に努めながら今後の方向性を検討しています。又、面会時には病院関係者に状態を聞き、担当医と今後について相談しています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、ご家族が十分な時間をかけてお考え頂き結論を出して頂ける様支援しています。それに対し、かかりつけ医の協力を頂き、職員がどう対応していくかを話し合い、方針を共有しています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	上記同様、常にかかりつけ医と情報交換をし今後の方針について話し合いを持っています。又、GHで出来る事、医療機関でも専門性を持って出来る事をそれぞれ考え、支援しています。		
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	できる限り環境の変化の無い様、住み替え前の生活の様子を伺い、同じような対応に努めています。又、GHで生活してわかってきた事などはその都度ケア関係者に相談するようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>各利用者のプライドやプライバシーを損ねるような言動に注意し、個人情報の取扱いについては職員全員が徹底しております。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>意思疎通がうまく出来ない利用者に対してもゆっくりと時間をかけ本人の希望や自己決定できるように支援しています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>各利用者個人のペースを大切に、その人らしく過ごしていけるよう日頃より支援しております。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>身だしなみは習慣づいてきています。その人らしい好みに合わせたおしゃれを楽しめるよう支援しています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>施設内で取れた野菜や近隣の方が届けてくださった野菜などを利用し、その季節や利用者の好みに合わせた調理を心掛けております。また、準備片づけ等、各利用者の力に合わせた内容を考慮し協力していただいております。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>ここの既往歴など考慮し、状況に合わせ好みの物を選んで戴いたり、買物等で好きな物を購入していただいております。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>職員善意が各利用者の排泄リズムを把握しトイレ誘導・声掛けを行う習慣となっております。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴を生活の楽しみとして、またリラックスしていただけるよう時間を十分にとり入浴していただいております。その人にあった入浴方法介助の仕方も職員一人ひとりが把握し対応しております。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>各利用者の体調に合わせて、安心して休めるような環境づくり対応を常日頃心掛けております。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>その人らしく生きがいを持って生きていけるよう個人の趣味や特技を生かしたレクを楽しんでいただいております。その中で自分の役割を見出し、いけるよう支援しております。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望により金銭管理を行っていただいております。また、職員に管理を希望している場合は本人より要望があればいつでも使えるよう体勢を整えております。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候や体調に合わせて外出できるよう支援しております。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>利用者・ご家族ともに相談しながら対応させていただきます。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により支援しております。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	前回より面会簿を廃止した効果もあり、面会される方も気軽に面会していただいているようです。ご家族の方もご本人のみならず他利用者にもお声をかけていただいたりと和やかな雰囲気でご過ごしていただいております。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	資料などにより職員一人ひとりが正しく理解し、ケアをしていると思います。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	前回同様、玄関の鍵は安全性を考慮し鍵をかけておりますが、屋外での活動時や個別の対応により臨機応変に状況に合わせて対応しております。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の所在確認、状態把握等プライバシーに配慮しながら対応しております。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態をいって保管管理を行っております。		状態により保管・管理を行うことで利用者のストレスも緩和されているのではないかと思います。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ご家族や協力医療機関との連携を持ち、事故防止に取り組ませていただいております。		一人ひとりの状態に応じた事故防止策など今後スタッフ会議等で話し合う機会を設けたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急救護は専門職員さんに指導をしていただきながら行います。また、今後も定期的に行いたいと思います。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練、防災点検など定期的に行っておりますが、利用者の突発的な状況には対応しきれずスムーズに行うことが出来ませんでした。		定期的な避難訓練のみではなく、施設内での避難訓練を行うことで突発的な状況や各利用者の状態に合わせた避難方法を訓練するべきだと考えております。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご家族の方に利用者の状態にあったリスクについての話し合いの場を設けております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	各利用者の日頃の要す観察を怠ることなく体調変化等気付いた際は、情報交換を行い適切な対応を取れるよう努めております。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の取扱い等、全職員が説明を受けたり、分からない場合は、個別記録で再確認できるよう努めております。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日課である竹踏みを行うことが利用者に習慣づいているようです。マメな水分摂取や腹部マッサージ定期的な運動を行う便秘予防として実行しております。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	各利用者の状態や能力に応じた介助・声掛けをおこなっております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量は1日で把握できるような記録として、またその日の体調によって臨機応変な対応をとるために補助食・飲料を常時準備しております。補助具についても状態に合わせて対応できるようにしています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症対応をマニュアル化している。スタッフ勉強会等を通じて全スタッフの認識を高めるよう努めています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	腸地器具。食器等の消毒と熱処理をし、整理整頓を心掛けることで日常的管理を行う。食材、特に生ものに関しては使用当日に購入するようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	一般の家屋のようなつくりになっていて施設という雰囲気を感じさせないようにすることと季節を漂わせること、開放的にしていること。もともと経営者の自宅なので近隣の方々も以前と変わらぬ付き合いをしてくださっているのだと思います。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内には季節感のごとの装飾をおき、雰囲気を大切にしています。また自然の光を取り入れつつ、不快になる場合には利用者自ら調節したり、利用者の様子や訴えに耳を傾けながらの支援をしていますが、難聴の方に対して少々大きな声で名前を呼んでしまうことがある。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂・ホール・居室等を自由に使用され中の良い方同士ゆっくりと時間を過ごすことができるように考えております。利用者同士で自室にお互いに招いて談話を楽しまることも多々あります。また逆に距離をおきたいときなどについても同様です。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで自宅や施設等で使用してきた本人にとって使い慣れた物をそのまま入居の際に持ってきていただけるよう話しています。また、必要物品等がある場合にはご家族に一言声をかけ、愛着のあるものがある場合もありますので施設に持ってきていただいています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気・温度調節は常時実施。利用者・スタッフ共に体感温度が異なるので、利用者の声・様子を伺いながら行うようになっています。臭いについてはこまめに掃除し清潔保持を常に心掛けています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者のADL・認知度等様々ですので、自立した生活、本人の力を維持できるよう配慮はしています。必要でも危険性の高いものについての取扱いについてはその都度話し合います。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室は表札・トイレなど場所を表示するなどシンプルに分かりやすくしています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭が主に活動の場になっています。また、施設周辺には歩に適したコースがいくつかあり、利用者の状態や状況・希望に併せたコースを選択しながら支援します。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な不に帰途馴染みやすい経営者・スタッフで、利用者・家族にはもちろん、他の関係機関とも密の連携をと考え取り組んでいます。「不安」があるときにはすぐに相談し、問題クリアさせるように努めています。スタッフも人間です。関係者との協力を得ながら安心してケアすることが質QOLに繋がっていくのではないかと思いますし、自らも向上させるのだと考えております。